

2024 年度第 9 回価格審査会の開催について

2024 年度 9 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2024 年 12 月 13 日(火) 10:00～12:00
場 所	本部 6F 大会議室
委 員	松田 寛志 日本工営株式会社 流域水管理事業本部 本部長 遠藤 和重 一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長 栞原 圭一 東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長 鈴木 由香 株式会社日本設計 コスト設計部長 星野 正 東日本旅客鉄道株式会社 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス プロジェクト支援ユニット プロジェクト予算 マネージャー(総括)
当 会	共通資材調査部 部長：大澤 勝、次長：小林 法雅 建築調査部 部長：高橋 俊一、次長：岩井 卓矢 監査審査室 室長：黒澤 昭浩 調査統括部(事務局) 部長：柴尾 治、課長：本間 哲

☐2024 年度第 8 回価格審査会議事録(案) 確認

☐2024 年度第 9 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
1. 「建設物価」1月号、「Web 建設物価」1月号 「土木コスト情報」冬号、「建築コスト情報」冬号の価格調査 ・ 価格が上伸した資材（工事費） 【Web 建設物価】 セメント（バラ）（旭川市ほか1都市）、レディーミクストコンクリート（北見市ほか25都市）、道路用碎石類（函館市ほか24都市）、再生碎石類（十日町市ほか5都市）、PHCパイプ（大津市ほか5都市）、アスファルト混合物（大船渡市ほか4都市）、ストレートアスファルト（全国）、燃料油（札幌市ほか53都市）ほか 【土木コスト情報】 <市場単価>鉄筋工（岐阜県ほか10都市）、ガス圧接工（福井県ほか6都市）、インターロッキングブロック工（茨城県ほか14都市）、防護柵設置工（ガードレール）（全国）ほか <土木工事標準単価>橋梁塗装工（北海道ほか43都市）、構造物とりこわし工（北海道ほか43都市）、コンクリートブロック積工（北海道ほか43都市）、表面被覆工（コンクリート保護塗装）（北海道ほか43都市） 【建築コスト情報】 <市場単価>土工事（全国）、鉄筋工事（青森市ほか26都市）、圧接工事（仙台市ほか1都市）、コンクリート工事（打設手間）（広島市）、コンクリート工事（ポンプ圧送）（仙台市ほか2都市）、型枠工事（甲府市ほか9都市） <標準施工単価> 土工事（根切り、埋戻し、盛土、発生土処理等）（全国）、鉄筋工事（青森市ほか25都市）、型枠工事（広島市）、耐火被覆工事（札幌市ほか9都市）、屋根及びとい工事（仙台市ほか8都市）

- ・ 価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

等辺山形鋼（青森市ほか17都市）、再生砕石類（前橋市ほか3都市）、コンクリート型枠用合板（那覇市）、構造用合板— J A S 品—（札幌市ほか14都市）、非鉄スクラップ・銅（全国）

【土木コスト情報】

なし

【建築コスト情報】

< 標準施工単価 > 土工事（親ぐい横矢板工法）（仙台市ほか8都市）、土工事（山留め支保工）（仙台市ほか8都市）

2. 比較資料

- ・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	「月積み契約分鉄鋼販売価格 形鋼（重軌条）」の補足コメントに「原材料下落に伴い市況下落」とあり、「ロックボルト」の補足コメントには「原材料高及び輸送コストの増加に伴い市況上伸」とある。このように同じ鋼材の中でも市況に違いが生じる理由は何か。	「月積み契約分鉄鋼販売価格 形鋼（重軌条）」は、一次製品であり、四半期に一度ひも付き売買契約による価格改定が実施される。当月において原材料となる鉄鉱石や石炭の価格が下落したことで、市況が下落した。一方でロックボルトは、加工製品である鋼材二次製品であり、原材料価格の値動きが遅れて反映される傾向にある。市況の違いは、販売形態や一次製品・二次製品といった違いから生じている。
質問 2	「コンクリート用骨材」の輪島地区について、三点表示から価格掲載に変更になっている背景は何か。	輪島市内のレディーミクストコンクリートのプラントが復旧したことで、コンクリート用骨材の取引が確認されたため価格掲載とした。
質問 3	建築工事市場単価の動向における 4 都市価格推移グラフ「普通合板型枠」「コンクリート工事 打設手間」について、ここ数年値上がり傾向が続いている。先行きの見通しはどうか。また、電気・機械設備工事において仙台地区の価格が大阪地区や名古屋地区と比較して高くなっている背景と先行きの地区間格差の見通しはどうか。	「普通合板型枠」「コンクリート工事 打設手間」は、専門工事業者が元請けに対して働き方改革への対応による長時間労働の是正や労働者不足を背景とした値上げ交渉を継続していることから、先行き、横ばい推移としているが、今後の見通しは上げ傾向と考えている。電気・機械設備工事の仙台地区の価格は、東日本大震災の復興関連需要が集中した際に需給がひっ迫したことにより急騰し、大阪地区や名古屋地区の価格を上回った。復興需要が落ち着いた現在も価格は高値で推移しており、この傾向は今しばらく続くと予想される。

質問 4	「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための措置に関する指針（以下、公共工事入札契約適正化法という）」の改正が 2025 年 12 月までに全面施行されることで、建設工事の請負契約の商習慣が変化することが期待されている。それに伴い土木コスト情報の調査手法見直し等は検討しているのか。	公共工事入札契約適正化法の改正による調査手法の見直しは考えていない。ただし、改正による価格への影響や値動きには注視していきたい。
質問 5	降雪による輸送コストへの影響はどのように考えているのか。	市場取引に影響が生じていることが確認されれば価格に反映する。
質問 6	「伸銅品」の補足コメントに「国際相場下落を受け、下落」とあるが、国際相場が下落した要因は何か。	銅相場は、国際的な需給や投資など様々な要因の影響を受けて変動している。今回の下落要因は複合的なもので、一概には言い切れないが、2024 年度は乱高下が激しく、主にはアメリカや中国など海外市場の需要低迷の影響によるところが大きいと考えられる。
質問 7	主要建設資材（10 品目）及び工事費（4 工種）の需給・価格動向の市場単価で、東京地区の鉄筋工は、建築工事では上伸したが、土木工事では横ばいとなった要因は何か。	東京地区などの都心部では再開発やビル、マンションの建設など建築工事のウエイトが大きい。建築需要は旺盛な中で、鉄筋工の職人不足により価格が上伸している。対して、土木は底堅い需要はあるものの建築ほどのひっ迫感はないことから価格動向に違いが生じている。
質問 8	「コンクリート混和剤－ブランド品－」で大幅上伸となっており、説明コメントでは戦略的な値上げとあったがどういった背景か。	「コンクリート混和剤－ブランド品－」の特定メーカーでは、シェア拡大のために競合品よりも安く価格設定をしていた。しかし、各種コストの増大から採算がとれなくなってきたことや、シェア確保も一定水準に達したことから、値上げに踏み切った。値上げ後の価格が競合品と同水準であったため比較的価格交渉が通りやすかった。
質問 9	「標準型ガードレール」「標準型ガードパイプ」等が、全国的な価格変動となっているが、全国一斉の値上がりになった背景は何か。	道路用製品のうち「ガードレール」や「ガードパイプ」のメーカーの供給範囲は全国となっている。そのため、地区ごとの値上げというよりは全国一斉に値上げを実施してきたものが、浸透したため、価格変動も全国一斉となっている。

質問 10	再生碎石の 10 都市価格推移グラフで、他地区では横ばい推移が多いなか、札幌地区に値上がり傾向が見られる理由は何か。	再生骨材は輸送や製造コストの上昇を受け各地のメーカーで値上げの意向が示されている。しかし、都市部では解体工事が旺盛で廃材発生が多く在庫過多の状況にあるため、値上がりしにくい状況が続いている。都市部の中でも、札幌地区では輸送範囲の違いや競合の新材価格との関係から、比較的値上げが浸透しやすい環境にあった。
質問 11	全般的に建築工事市場単価が値上がりしている中で「土工事（親ぐい横矢板工法）」「土工事（山留め支保工）」が値下がりしている。補足コメントに「材料費の値下がりに伴い、下落」とあるが、どのような状況か。	両者ともに値下がりしているのは工事費のうちの「親ぐい損料」であり、親ぐいの原材料である H 形鋼や鋼矢板等の値下がりが理由である。
質問 12	レディーミクストコンクリートの新潟地区は、他地区と比較して、値上がり幅が小さく、頻回に値上がりしている。何か理由はあるのか。	新潟地区は協組の組織率が低く、員外社の割合が大きいため、それぞれ競合相手を意識しながら徐々に値上げする傾向がある。
質問 13	燃料油の市況コメントに「燃料油価格激変緩和対策事業による補助金が出口へ向け段階的に縮減されることが決定」とある。これを受けた先行きの見込みはどうか。	資源エネルギー庁より、出口戦略として 12 月中旬以降段階的に補助金が減額されることが発表され、12 月及び 1 月は概ね 5 円程度の削減となるように補助率が調整される見込みである。原油相場の動向にもよるが、店頭価格も同等水準の変動になると予想している。
審議結果	「建設物価」1 月号、「Web 建設物価」1 月号 「土木コスト情報」冬号、「建築コスト情報」冬号の価格動向に問題はなかった。	

以 上